

**SDGsにかかる関西地域での
取り組み状況調査 結果報告書
(速報 要約版)**

**2019年5月
関西SDGsプラットフォーム リサーチチーム**

調査方法	インターネット調査（Open Mill）
調査対象	下記に該当する企業 ・関西SDGsプラットフォームの会員企業・経済関連団体 ・関西経済連合会の会員企業・団体 ・大阪商工会議所の会員企業・団体
サンプル数	198ss
設問数	30問
調査期間	2019年2月26日（火）～3月22日（金）
調査機関	関西SDGsプラットフォーム リサーチチーム （株）電通マクロミルインサイト提供のウェブアンケート調査システム活用）

今回の調査は、
SDGsに関して意識が高い企業・団体の結果となっています



そのため、SDGsを進めるにあたって
「どのような事が課題になるか？」
を把握でき、
「どのような準備をしておくことが必要か？」
を先回りして試みる事が出来ます



トピックス
①

SDGsの内容を深く理解している企業は6割にとどまるが、一旦理解すると強く意識する事も事実

何故なら

トピックス
②

SDGsを推進する事で、市場・顧客・地域の信頼獲得・安定化が出来ると認識されており、自社の経営資源（ヒト・モノ・カネ）を向上させるドライブとなれるかがカギとなっています

※約5割がSDGsを将来のビジネスチャンスとみており、大企業の3分の2が既に「新規事業開発に資する」とみている。

そして

トピックス
③

SDGsの取組状況は、右記の3つが特に高い
それらが高い理由は、自社に関係する社会課題として強く認識されているからと推測される



現在は

トピックス
④

SDGsの情報入手は、行政HPや新聞が多く、特定企業のHPなどから事例として入手などはまだ低い
つまり、まだ大手企業も含めて情報発信はあまりされていないため、今から始めるのも遅くはない

今後は

トピックス
⑤

SDGsを更に推進していくためには、下記が必要

- ・資料などの整備（SDGs理解ツール）
- ・補助金制度（特に経営者からの意向高い）
- ・お墨付き認定制度（経営者からの意向高い）

特に、補助金・お墨付きに関しては、出してからではなく、今から準備しておくことが重要

トピックス①



SDGsの内容を深く理解している企業は
6割にとどまるが、
**一旦SDGsの内容を理解すると
強く意識する事も事実**



SDGsの認知率
(内容理解) は、
まだ**63.2%**と低い



SDGsの
認知率はどれくらい？



SDGsに関心の高い対象企業（知名率99%）
の調査にも関わらず
SDGsの内容を深く理解しているのは
63.2%にとどまっている

内容理解の合計は
63.2%だが、

常に意識してい
るは、
47.0%と、

内容を理解すると
強く意識している

?

SDGsの認知率の深さはどうなっている？



!

SDGsの内容を深く理解している企業（63.2%）
全体の中で
「内容も知っており、常に意識している」
が7割以上と高い結果

Q4：だが、所属部署別にみると、広報・CSR・経営企画は意識あり層が多いが、取締役・代表は少なかった。

SDGsに関心の高い
企業においても
SDGsを深く理解する
のは6割、
しかし一旦SDGsの内
容を理解すると、強く
意識する事も事実



SDGsに関心の高い企業（知名率99%）が回答する調査にも関わらず
SDGsの内容を深く理解しているのは、
63.2%にとどまる



SDGsの内容を深く理解している企業（63.2%）
のうち、
**7割以上は「内容も知っており、常に意識
している」と高い結果**



トピックス②



**SDGsを推進する事で、
市場・顧客・地域の信頼獲得・安定化が出来る
と認識されており、**

**自社の経営資源（ヒト・モノ・カネ）を向上させる
ドライブとなれるかがカギとなっています**

※約半数がSDGsを将来のビジネスチャンスとみており、
大企業の3分の2が既に「新規事業開発」に資する」とみている。

今回の調査の
回答企業は、

『収益性向上』など
を重要な経営課題
として挙げています。



?

SDGsに関心をもっている企業の、
経営課題（重要度の高い）は何か？



!

高かったのは下記の3つ

- ・「収益性向上」
- ・「新製品・新サービス・新事業の開発」
- ・「人材の強化」

Q3：資本金・売上規模が大きい企業は「収益性向上」、小さい企業は「人材の強化」を挙げる企業が多かった。

SDGsを
推進することは、

自社・顧客・地域に
好影響をもたらすもの
と考えているようです。



?

では、SDGsが**好影響を与える**と思われる
経営課題は何なのか？



!

高かったのは下記の3つ
・「ブランド力の向上」
・「顧客満足度の向上」
・「地域貢献・密着」

SDGsは、

一義的には
社会的意義の観点
から捉えられており、

続いて
将来のビジネスチャンス
とみられている



?

SDGsに**取り組む目的は？**



!

SDGsに取り組む目的は下記の3つ

「社会貢献／CSRの一環」(67.2%)

「持続可能性に関わる企業・団体の価値向上」(65.7%)

「将来のビジネスチャンス」(51.0%)

SDGsを
推進する事で、

市場・顧客・地域の
信頼獲得・安定化
が出来ると
認識されており、

自社の経営資源
(ヒト・モノ・カネ)
を向上させる
ドライブとなれるか
がカギとなっている

※約半数がSDGsを
将来のビジネスチャンス
とみており、
大企業の3分の2が
「新規事業開発に資する」
とみている。



SDGsが特に影響を与えるのは下記の3つ

- ・「ブランド力の向上」
 - ・「顧客満足度の向上」
 - ・「地域貢献・密着」
- ・・・市場
 - ・・・顧客
 - ・・・地域

以下の経営課題に貢献できるかがカギ



経営課題で重要が高いのは下記の3つ

- ・「収益性向上」
 - ・「新製品・新サービス・新事業の開発」
 - ・「人材の強化」
- ・・・カネ
 - ・・・モノ
 - ・・・ヒト



SDGsに取り組む目的は下記の3つ

- 「社会貢献／CSRの一環」(67.2%)
- 「持続可能性に関わる企業・団体の価値向上」(65.7%)
- 「将来のビジネスチャンス」(51.0%)



SDGsのビジネス化に、
まだ大きな課題が存在しているようです

SDGs推進における課題は
「SDGsを活用したビジネス機会の獲得や拡大まで意識がっていない」が45%で突出して高かった。
第1次・第2次産業や、資本金・売上が高い企業で課題意識が強い。

従業員数の違いによって課題意識が異なっていた。

従業員数が

■ **100人未満の企業では**

「市場環境の整備の遅れ」「資金的に余裕がない」「顧客から求められていない」が高い。

■ **100～3,000人未満の企業は**

「SDGsを活用したビジネス機会の獲得や拡大まで意識がっていない」「中間管理職と事業部門の認識不足」
「人材に余裕が無い」「経営上の優先課題としていない」「中長期の経営計画に入れていない」が高い。

■ **3,000人以上の企業は**

「経営陣と現場との間に認識に課題がある」「報酬制度自体まで意識がっていない」「組織体制に課題」が高い。

小企業では、
そもそもの
土台が課題

中企業では、
マネタイズに課題

大企業では、
体制に課題





会社の規模が大きいほど、SDGsのメリットを強く認識。
中小企業でもブランド向上をメリットとして挙げる回答が多い。

SDGsのメリットに関する認識は

会社規模が大きくなるにつれ、強く認識される傾向があるが、中小企業でも、ブランド向上がメリットとの認識が高く存在する事が確認できた。しかし、SDGsが「収益性」の観点でメリットがあるかについては、規模の大きい企業でも時間がかかるとの結果となった。

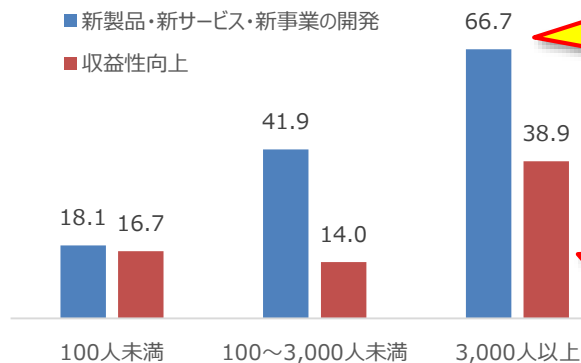
従業員数の違いによって
SDGsのメリットに関する認識が異なっていた。

従業員数が

- **100人未満の企業では**
「ブランド向上 (33.3%)」が最も高く、
「地域貢献」「人材の強化」も高い。
- **100～3,000人未満の企業は**
「ブランド向上 (48.8%)」が最も高く、
「顧客満足」「新製品等の開発」も高い。
- **3,000人以上の企業は**
「ブランド向上 (75.0%)」が最も高く、
「ステークホルダー連携」「企業ミッション等の見直し」も高い。

中小企業から大企業に至るまで
SDGsは、ブランド向上に
役立つとの回答が多い

・「新製品等の開発」「収益性向上」に注目すると・・・？



「新製品等の開発」は、
大企業での
認識は高まっている

「収益性」に関しては、時間がかかるとの判断

※FA抜粋

- ・利益を出すまで時間がかかる
- ・世の中の浸透度が浅く、SDGsへの理解を促すステージである先が多いなど

※FA抜粋はQ15 SDGs推進における課題から関連するものを抜粋



トピックス③



SDGsの取組状況は、**下記の3つが特に高い**



それらが高い理由は、
**自社に関する社会課題として
強く認識されているからと推測される**



SDGsの取組状況は、
下記の3つが特に高い



次いで高いのは



SDGs17個の開発目標に対する
取組実態は？



実施度50%を超えたのは下記の3つ

- 「⑧経済成長及び働きがいを促進する活動」
- 「⑫持続可能な生産消費形態を確保する活動」
- 「⑬気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる活動」

※ちなみに実施度48～49%は下記の3つ

- 「③あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する活動」
- 「⑨強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る活動」
- 「⑪包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する活動」

右記3つは
分かりやすく、

直接的な
活動が多くを
占めている



具体的に**どういった事**をしているのか？



【働き方改革の推進】、【人事制度の拡充】、【障がい者雇用の推進】、
【環境対策／環境ビジネス推進】、【海外・途上国支援】



【リサイクル・リデュースの推進】、【製品・サービスを通しての支援・貢献】、
【環境対策／環境負荷削減】、【CSR活動・調達推進】



【環境対策／環境負荷削減】、【製品・サービスを通しての支援・貢献】、
【CO2排出削減】、【省エネ】



何故、**下記の3つ**が高いのか？



SDGsに取り組んでいる企業の多くは、
特にこの3つを自社に関係がある社会問題としている

「地球温暖化・気象変動」(26.8%)

・・・⑬

「資源・エネルギー」(25.8%)

・・・⑫・⑦

「働き方改革・ブラック企業対策」(25.3%)

・・・⑧

その3つは、

自社に関係がある
社会課題として
直結している
ため
高いと考えられる

SDGsの取組状況は、
下記の3つが特に高い



それらが高い理由は、
自社に関する社会
課題として
強く認識されているから
と推測される



実施度50%を超えたのは下記の3つ

「⑧経済成長及び働きがいを促進する活動」

「⑫持続可能な生産消費形態を確保する活動」

「⑬気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる活動」



SDGsに取り組んでいる企業の多くは、
特にこの3つを自社に関係がある社会問題としている

「地球温暖化・気象変動」(26.8%)

・・・⑬

「資源・エネルギー」(25.8%)

・・・⑫・⑦

「働き方改革・ブラック企業対策」(25.3%)

・・・⑧

トピックス④



SDGsの情報入手は、行政HPや新聞が多く、
**特定企業のHPなどから
事例として入手などはまだ低い**

つまり、まだ大手企業も含めて
情報発信はあまりされていないため、
今から始めるのも遅くはない



SDGsの
情報入手は、
行政HPや
新聞が多く、

特定企業のHP
などから事例として
入手などはまだ低い

?

SDGsは**どういった媒体で知ったのか？**



!

SDGsを知った媒体は下記の3つが特に高い
「行政の広報誌や公式ホームページ、SNSアカウント」(39.8%)
「日本経済新聞」(54.6%)
「日経ビジネス」(29.6%)

特定企業
のHPは、
5%未満

Q7：資本金・売上が大きい企業は日経系の雑誌や東洋経済、情報WEB、新聞のスコアが高く、勤務先でも情報を得ているが、資本金・売上が低い企業は家族・友人・知人との会話でSDGsについて見たり聞いたりしている傾向だった。

まずは
関西SDGs
プラットフォーム
のHPを
ご覧ください!



SDGsは**どういった企業から聞いたのか？**



「関西SDGsプラットフォーム」
「SDGsを推進するプラットフォームやコンソーシアム」
が5割超

今後、相談できるパートナーは
「**関西SDGsプラットフォーム**」が5割超

まだ大手企業も含めて
情報発信は
あまりされていないため、

**今から
始めるのも
遅くはない**



SDGsを知った媒体は下記の3つが特に高い
「行政の広報誌や公式ホームページ、SNSアカウント」(39.8%)
「日本経済新聞」(54.6%)
「日経ビジネス」(29.6%)

特定企業
のHPは、
5%未満



「関西SDGsプラットフォーム」
「SDGsを推進するプラットフォームやコンソーシアム」
が5割超
今後、相談できるパートナーは
「関西SDGsプラットフォーム」が5割超

トピックス⑤



SDGsを更に推進していくためには、
下記が必要

- ・資料などの整備（SDGs理解ツール）
- ・補助金制度（特に経営者からの意向高い）
- ・お墨付き認定制度（ " ）



SDGs推進の
為には、

資料自体は
当然だが、

- ・補助金制度
- ・お墨付き認定制度
が必要



?

SDGs推進のためには
何が必要か？



!

「SDGsに取り組む資金支援や補助金制度」
「SDGsを一通り知ることが出来る経営者向けの資料」
「SDGsに取り組んだ企業に対するお墨付き認定制度」
が4割を超えて高く挙がった。

関西SDGs
プラットフォーム
に対して期待する事
に関しても、

事例集・資料等
に加えて、

資金支援
や
補助金制度
となっている

?

関西SDGsプラットフォームに**期待する事は？**



!

関西SDGsプラットフォームに追加されてほしい機能は
「SDGsの最新事例集」
「従業員向けのSDGsに関する資料」
「SDGsに取り組む資金支援や補助金制度」
が4割を超えて高かった。

SDGsを
更に推進していく
ためには、
下記が必要

- ・資料などの整備
- ・補助金制度
- ・お墨付き認定制度

自治体や政府機関
などが
既に提供している
制度を活用
することもひとつ



必要なものとしては、
「SDGsに取り組む資金支援や補助金制度」
「SDGsを一通り知ることが出来る経営者向けの資料」
「SDGsに取り組んだ企業に対するお墨付き認定制度」
が4割を超えて高く挙がった。



関西SDGsプラットフォームに追加されてほしい機能は
「SDGsの最新事例集」
「従業員向けのSDGsに関する資料」
「SDGsに取り組む資金支援や補助金制度」
が4割を超えて高かった。

さあ、始めてみませんか？

**関西SDGsプラットフォームでは
サービスや支援制度の情報を
拡充していきます！**

<https://kansai-sdgs-platform.jp/>

